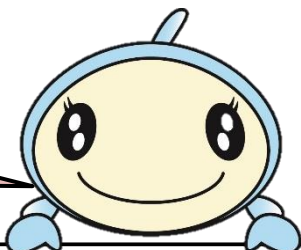


第1号
R4. 4月



「3つの合言葉」元気・学び・会話



【発行・編集】
滑川町教育委員会
TEL0493-56-6907

町の子供は町で育てる 滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」

★令和4年度も第3期滑川町教育振興基本計画に基づき、教育行政を進めます。

社会的・職業的に自立し、他者と
共生することで、社会に貢献する人

目指す人間像

一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、より
よい社会と幸福な人生を自ら作り出していくため
の資質・能力を確実に育成する教育を目指す。

目指す教育の姿

基本理念

学んでよかったまちへ -チーム滑川での教育-
「人・まちをつなげ、未来へつながる滑川町の教育」

3つの目標

新しい時代を切り拓
いていく「生きる力」
を育む

-社会的・職業的に自
立するための基礎を培
う-

学校・家庭・地域の連
携による教育力の向
上を図る

-学校・家庭・地域が
互いに育て合い、子
供・地域を支える-

いくつになっても共に学
び続けられる環境で生涯
学習を充実し、次世代に
引き継ぐ

-町民が町の文化芸術、
スポーツを育てる-

令和4年度重点施策

- 施策1 確かな学力を育む教育の推進〔①「学力・学習状況調査」等の結果分析と指導方法の改善
②読書活動の推進、③情報活用能力の育成〕
- 施策2 豊かな心を育む教育の推進〔①体験活動の推進、②教育相談活動の推進、③虐待から子どもを守る取
組の推進、④読書活動の推進(再掲)、⑤人権教育の推進〕
- 施策3 健やかな体を育む教育の推進〔①食育の推進、②児童生徒の体力の向上〕
- 施策4 教育的ニーズに応じた教育の推進〔①共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実、②不登校の未然
防止の推進〕
- 施策5 円滑で継続性・連続性のある教育の推進〔①義務教育9年間の系統性のある教育の充実、②家庭や地
域と連携した幼児教育の推進〕
- 施策6 夢や志を持ち挑戦する力を育む教育の推進〔①一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた教育の推
進、②社会で活躍できる多様な力を育成する教育の推進〕
- 施策7 学校における指導体制の改善〔①教員の資質・能力の向上、②教職員の不祥事の根絶に向けた取組推
進とサービス上の問題への対応〕
- 施策8 家庭・地域の力を生かした教育の推進〔①コミュニティ・スクールの設置とその充実、②子どもの安全・安
心の確保と安全教育の推進〕
- 施策9 学びを支える環境づくり〔①学校 ICT 環境の充実、②学校における働き方改革の推進〕
- 施策10 学び続ける環境の整備〔①多様な学習機会の提供、②読書に親しめる環境づくり〕
- 施策11 文化芸術活動の推進と文化遺産の保護〔①文化芸術活動への参加の促進、②文化遺産の魅力発信
と学ぶ機会の充実〕
- 施策12 スポーツ・レクリエーション活動の推進〔①生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進〕



「子ども読書の日」(4月23日)

「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)です。

この機会を捉え、読書をしましょう。そのためにも、ノーテレビ・ノーゲームデーやノースマートフォンタイム等を設定してみたいかがでしょう。

滑川町子ども読書活動推進計画に基づき、本好きの子を育てます。

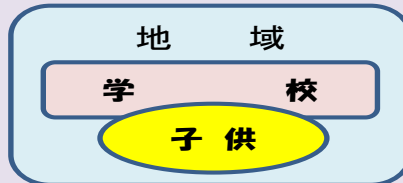
読書好きな子どもを育てるためには、乳幼児期から読書に親しむ環境作りが必要です。家庭、地域、学校においては、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高め、進んで読書を行う態度を養い、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、その読書活動を広げ、読書体験を深める取組を進めます。

令和4年度の目標

- 1か月に本を1冊も読まない子どもの割合(不読率)を半減にする。
小・中学校ともに、5%以下を目指します。
- 読書が好きな子どもの割合を、小学校8割以上、中学校で6割以上にする。

滑川町の学校教育が目指すもの

町の子供は町で育てる ～ チーム滑川 ～



笑顔あふれる学校づくり
学校に関わるすべての人が笑顔になる取組

滑川町立学校のすべての子供たちの笑顔のために、学校に関わる全ての人たちの笑顔のために、笑顔あふれる学校づくりを積極的に推進するべく「滑川町立学校における働き方改革基本方針」を策定し、推進しています。

新しい教育の創造、それを支える持続可能な学校の組織体制を構築するためには、教職員の働き方、学校の役割を見直し、学校が本来注力すべきことに必要な時間をかけられるようにすることが重要です。さらには、教職員が心身共に健康で幅広い経験・研鑽を積んだり、これからの教育を視野広く発想豊かに創造する活力を蓄えたりするために、時間と気持ちのゆとりを持ち、主体的に学んでいくことが欠かせません。

そこで、以下のことを目指す取組を行います。

「授業やその準備に集中できる時間」、「子供と接する時間」及び「自ら専門性を高めるための時間」の確保、教職員の健康維持増進

予測困難な時代を生き抜く子供たちが、未来の創り手となるための資質・能力を確実に身に付けるとともに、生涯にわたり一人一人の「可能性」と「チャンス」を、最大限に生かせる地域づくりが、新しい時代への過渡期を生きる私たち大人の責任であり、教育関係者に負わされた責務であると認識し、全力で教育行政を進めてまいります。

令和4年度も御理解、御協力の程よろしく願いいたします。